



第2回定時総会開催

今年も組織の拡充と継続的支援活動を進めよう



駿河湾を望むホテルに全国各地から集まった会員たち。通常、月2回の運営会議はインターネットのスカイプで行っているのですが、一堂に会しての会議はとても新鮮。

2018年
2月18日(日)

一般社団法人ひかりプロジェクトは静岡県・かんぼの宿焼津において、第2回定時総会を開催しました。藤原眞久理事長を議長に議事が進められ、2017年度の事業報告・一般会計収支報告の後、2017年度貸借対照表及び損益計算書の承認を受け、

ひかり新聞

共生共助の社会をめざす

2018.3.1
No.33

一般社団法人
ひかりプロジェクト



総会前夜の懇親会。ホテルが改修工事のため、温泉は男女交代入浴でしたが、その代わり料理がちょっと豪華になりました。

続いて任期満了に伴う役員改選候補者と新理事候補者の承認を受けました。この結果、一昨年の設立総会で承認された役員全員が再任され、新たに奥原幹雄さんが理事に加わりました。2018年度の事業計画と収支予算書についても報告があり、総額171万1千円の予算で活動することになりました。3年目の今年、会員数10名を目標に会員の増加を図るとともに、一般企業・団体からの財的支援に積極的に応募し、活動の充実を目指すこととしました。事業としては、

- ① 気仙沼、熊本への支援活動
- ② 第7回ドリームキャンプ支援
- ③ ドリームキャンプこども食堂支援
- ④ ひかり新聞の発行

などの活動を中心に、しっかりとした基盤を作ってまいります。会員の皆様にも、積極的に活動に参加していただきますよう、お願いいたします。

《主な行事日程》

- ◆ 3月17日(土)～18日(日) 餅つき・歌の会イベント (熊本)
- ◆ 7月27日(金)～29日(日) 第7回ドリームキャンプ (気仙沼)

一般社団法人ひかりプロジェクトにご入会のお願い!

お申し込み・お問い合わせは、事務局までご連絡ください。どうぞよろしく願いいたします。

ひかり募金にご協力を!

- ★ゆうちょ銀行
記号 10890 番号 16718311
- ★郵便振替
記号番号 00210-2-137823
一般社団法人 ひかりプロジェクト

ドリームキャンプ&こども食堂への取り組みに評価!



- 1月18日(木) 東北大学文学部 (実践宗教学)
—ケアと宗教者 (の实践) という視点—
- 2月11日(祝) 宮城県子ども育成フォーラムin南三陸
—子ども会 (生涯学習的な教育視点) —

奥原幹雄さん(気仙沼市)が、震災直後から現在までの被災者支援活動、「ドリームキャンプ」や「こども食堂」の取り組みについて、2ヵ所で講演されました。これまでの取り組みに関して、多方面から関心が寄せられ、多くの方々から評価を頂かれました。

熊本地震から2年

ましきまち
にしはらむら
— 益城町・西原村を訪ねて —

1月19日(金)、熊本を訪ねた。
2016年4月14日夜と16日未明に発生した、最大震度7を観測した熊本地震から、この春で2年となる。

あさ8時に熊本城へ向かう。市内は朝の通勤時間帯で、地震の影響はほとんど見ることができない。お城の周りには工事中の看板や大きなクレーンを見かけるが、街は落ち着いた雰囲気である。



熊本市内を走る路面電車

復旧進む益城町

目的の熊本市の東隣にある益城町へ向かう。市内中心部より東へ10km走ると九州自動車道と交差する。そこを過ぎると中心部に入る。

益城町は熊本市のベッドタウンとして発展した町で、人口は3万3千人、阿蘇くまもと空港や九州自動車道が立



工事中の熊本城周辺

地し、交通の要所となっている。今回の地震では、3本の断層帯が隆起し、全住宅の約6割に当たる6千2百棟が被害を受けた。

現在は倒壊した家屋はほとんど片付けられ、一部は新しい家に建て替えられているが、町では一部道路の改修や付け替えと同時に区画整理事業を進めており、公共工事と個人の宅地復旧工事との兼ね合いや、復興支援金の申請など、手続きを進めているとのこと。

昨年3月の「餅つきイベント」でお世話になった金光教木山教会の旧会堂は、すでにきれいに片付けられ、跡地には、町の紹介で、イタリアから船便で取り寄せられた緑色のトレーラーハウスが置かれていた。



トレーラーハウス
床下にタイヤが付いていて移動可能

移動図書館

その後、車で10分の木山仮設団地へ。ここは22戸約500人が入居する比較的大規模な仮設団地で、奥の集会所の前に移動図書館の車が駐まっていた。この「移動図書館おあしす」は、何か継続した支援をしたいとの願いから、橋本信一さんを中心に16年秋より始められたもので、現在は、木山、西原村小森の2カ所の仮設団地を月6回巡回されている。一日の利用者は50名ほどで、65歳以上の婦人が多いそうだ。



軽トラックの荷台には、250〜300冊の本が積み重ねられ、常に入れ替えながら貸し出している。本の種類は週刊誌が人気で、「衣食住」関わる本、例えばお料理本、手芸本、健康関係の本なども好評。もちろん推理小説の松本清張、山村美紗、歴史小説の池波正太郎なども根強い人気だという。



橋本さんは「仮設生活も2年目に入り、だんだん落ち着いてきて、じっくり本と向き合うことができるようになってきたのではないか」と言われた。



「移動図書館おあしす」のスタッフ
豊永晃太郎さん、橋本信一さん、橋本富夫さん

元の土地で再建する

集会室で談笑しているご婦人にお話を伺うと、現在の問題は、区画整理のために家が建てられないこと。敷地の真ん中に町道が通ることになり、町の説明会や手続きに時間がかかっているとのことであった。

幸いこの地区（益城町、西原村）では別の場所へ集団移転することなく、慣れ親しんだ元の土地で再建する道を選んだことで、日を追って住民の気持ちも落ち着いていったという。さらに勤務先の被害も少なく、復旧も早かったため、経済的にも安心材料となった。



移動図書館で本を借りたあと
集会室でお茶を飲みながら談笑するご婦人たち

西原村は、あちこち工事中

午後、益城町からさらに東へ10kmの西原村役場へ。人口7千人、阿蘇山のカルデラの外側に位置する西原村は、地震で全家屋の56%が全半壊し、今も



西原村役場庁舎 駐車場は浄化槽の部分が隆起



ビニールシートの上に石が置かれている屋根

西原村小森仮設団地には、多くの人が仮住まいを続けている。

道路を走るといたる所で土手の工事や道路の工事が進んでおり、役場の話では、国の補正予算で一斉に工事が進むと思われる。しかし役場の建物は後回しのように、役場の駐車場は地面が隆起、ビニールシートに被われた事務所、所の屋根は2年前のままで、住民優先の考えが伝わってくる光景だった。

(報告・写真 大田 一)

木山仮設団地で フラワーアレンジメント教室

2月16日(金)、移動図書館の日に、木山仮設団地では、中西桂子さん(東京都板橋区)、入田安子さん(東京都東村山市)が駆けつけ、フラワーアレンジメント教室が開かれました。

また、益城町の広報の方が図書館の様子を見学に来られ、次号の広報に移動図書館とフラワーアレンジメント教室のことが掲載されるそうです。



教えてもらいながら
スランやマーガレットの花を
楽しく作りました

手前が図書館
奥がフラワーアレンジメント教室です



<p>主催：一般社団法人ひかりプロジェクト</p> <p>餅つき・歌の会 イベント</p> <p>日時 3月17日(土)13時～15時 場所 木山上辻仮設団地 集会所</p> <p>[予定] 12時00分 準備 13時00分 餅つきの開始 13時40分 餅つきの終了 14時00分 歌の会の開始 15時00分 終了</p>	<p>主催：一般社団法人ひかりプロジェクト</p> <p>餅つき・歌の会 イベント</p> <p>日時 3月17日(土)16時～18時 場所 安永東仮設団地 集会所</p> <p>[予定] 15時00分 準備 16時00分 餅つきの開始 16時40分 餅つきの終了 17時00分 歌の会の開始 18時00分 終了</p>	<p>主催：一般社団法人ひかりプロジェクト</p> <p>餅つき・歌の会 イベント</p> <p>日時 3月18日(日)13時～16時 場所 西原村小森仮設団地 C棟集会所</p> <p>[予定] 12時00分 準備 13時00分 餅つきの開始 14時30分 餅つきの終了 15時00分 歌の会の開始 16時00分 終了</p>
--	---	---

今回のイベントスタッフ、田中佐百合さん、橋本信一さんを中心に、3カ所の仮設団地上記のポスターを掲示、チラシを配布してくださいました。また「歌の会」は、今回も横浜市の吉見文男さん・美紗子さんご夫妻にご協力いただきます。

今年も熊本で 餅つき・歌の会イベント

- ◆ 3月17日(土)13時～15時 木山上辻仮設団地集会所
- ◆ 3月17日(土)16時～18時 安永東仮設団地集会所
- ◆ 3月18日(日)13時～16時 西原村小森仮設団地集会所

スタッフ募集中です。みなさん、ぜひご参加ください。
お申し込みお問い合わせは、下記までお願いいたします。

しみずみきお 080-1927-1098
清水幹生
HPA事務局 0555-20-4088



メニューは、あんこ・きなこ・納豆・大根おろしなど



気仙沼

第7回こども食堂 おもちバイキング

2017年12月23日(土)、ドリームキャンプこども食堂(会場:気仙沼市南町)が開催されました。4月から始まり、今回で7回目です。

メニューは「お餅バイキング」

金光ボランティア会の支援活動で定番のお餅つきを子どもたちと共に、行く年来る年に思いを馳せ、楽しく和やかな時間を過ごしました。

朝9時、3乙女の会(被災した女性たちの会)の皆さんが集合。もち米は前日に準備されており、当日は、きなこや大根おろし、お雑煮などの準備が手際よく行われました。

屋外では、テントの設置、まきストーブや臼・杵の準備が着々と進められ、11時に開会です。



手編みのマフラーや帽子をプレゼント

蒸しあがったもち米を臼に投入、まずはベテランの地元のお父さん方が杵でつきます。

2日目は子どもたちが参加。初めての餅つき体験で、お父さんたちのようにはうまくいきませんが、一生懸命ついている姿は微笑ましく、見守るみんなも笑顔になります。

集まった子どもたちは、室内でボードゲームをしたり、屋外では周辺を走り回ったり、シャボン玉に夢中になったり、次々と子どもたちどうしのルールで遊んでいます。お母さん方も参加されていて、わが子の面倒を見ながら、年代の違うお母さんたちとの情報交換や相談などで賑わっていました。

最後の3日目はサンタクロース? が参戦、裏方でお手伝いしている方々のためのお餅になりました。

1年を通じて定番化してきた月1回のこども食堂。支援者の市立病院付属看護学校の学生さん、気仙沼市社会福祉協議会のスタッフ、ボランティアステーションin気仙沼のスタッフの方々の輪も広がり、子どもを中心とし

こども食堂は事故やけが、食中毒対策など安全安心に配慮しつつ、若者男女年代問わず地域住民の交流の場として今後も実施される所です。

ひかりプロジェクトは、これからも食堂をサポートしていきます。皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

(大江 靖)



地元のテレビ局の取材カメラにちょっと緊張気味の子どもたち

ひかり新聞 No.33 2018年(平成30年)3月1日

発行者:一般社団法人ひかりプロジェクト

〒401-0304 山梨県南都留郡富士河口湖町河口175

電話 0555-72-8191 FAX 0555-76-6696

https://hikari-project.jimdo.com/ E-mail: hpa@road.ocn.ne.jp